

事務事業名	中学校施設保守管理事務				担当	教育委員会 学校教育課 施設係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S29 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	学校教育法第5条						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	3中学校費	1 学校管理費			
事業概要	市内9中学校施設の良好な施設の維持管理及び保全業務敷地面積334,812平方メートル（建物敷地114,000平方メートル、運動場敷地183,104平方メートル、学校林8,600平方メートル）校舎22棟41,656平方メートル、体育館及び武道館19棟15,089平方メートル、プール10面プール付附属棟12棟791平方メートル、屋外トイレ13棟188平方メートル、物置19棟974平方メートル、自転車置場39棟付帯電気、給排水及び消防設備一式						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
30年度実績 点検：自家用電気工作物保安管理、消防設備点検、石油暖房機点検 給食用ダムウェーター保守点検、プール循環浄化装置保守点検 プール飲料水塩素滅菌機保守点検、し尿浄化槽保守管理 運動具安全点検、空調設備保守点検 検査：簡易水道管理検査、飲料水水質検査、プール水水質検査 清掃：し尿浄化槽清掃、受水槽・高架水槽清掃 校舎・体育館等窓ガラス清掃、産業廃棄物処理 その他：給水管漏水調査、校舎機械整備、校内樹木の害虫駆除 草刈業務		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 点検・検査回数</td> <td>回</td> <td>496</td> <td>493</td> <td>493</td> <td>493</td> <td>493</td> </tr> <tr> <td>イ 箇所数(中学校数)</td> <td>校</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ウ ごみの収集回数</td> <td>回</td> <td>1,044</td> <td>1,044</td> <td>1,044</td> <td>1,044</td> <td>1,044</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 点検・検査回数	回	496	493	493	493	493	イ 箇所数(中学校数)	校	9	9	9	9	9	ウ ごみの収集回数	回	1,044	1,044	1,044	1,044	1,044	エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 点検・検査回数	回	496	493	493	493	493																																												
イ 箇所数(中学校数)	校	9	9	9	9	9																																												
ウ ごみの収集回数	回	1,044	1,044	1,044	1,044	1,044																																												
エ																																																		
オ																																																		
31年度計画 前年度と同様																																																		
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
9中学校の学校施設		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 敷地面積</td> <td>m2</td> <td>334,812</td> <td>334,812</td> <td>334,812</td> <td>334,812</td> <td>334,812</td> </tr> <tr> <td>イ 校舎・体育館・プール等面積</td> <td>m2</td> <td>58,698</td> <td>58,698</td> <td>58,698</td> <td>58,698</td> <td>58,698</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 敷地面積	m2	334,812	334,812	334,812	334,812	334,812	イ 校舎・体育館・プール等面積	m2	58,698	58,698	58,698	58,698	58,698	ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 敷地面積	m2	334,812	334,812	334,812	334,812	334,812																																												
イ 校舎・体育館・プール等面積	m2	58,698	58,698	58,698	58,698	58,698																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
適切な検査・点検等の業務により、中学校施設を良好な状態に維持する。 教育環境の美化と衛生確保を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施設の維持が良好な中学校の数</td> <td>校</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 施設の維持が良好な中学校の数	校	9	9	9	9	9	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 施設の維持が良好な中学校の数	校	9	9	9	9	9																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
生徒及び教職員の健康の維持と学習率の向上学校の教育効果の向上		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 学校の施設・設備の充実度に満足している保護者の割合</td> <td>%</td> <td>66</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 学校の施設・設備の充実度に満足している保護者の割合	%	66	70	70	68	68	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 学校の施設・設備の充実度に満足している保護者の割合	%	66	70	70	68	68																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																											
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0																																											
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																											
		県支出金	千円	0	0	0	0																																											
		地方債	千円	0	0	0	0																																											
		その他	千円	0	0	0	0																																											
	一般財源	千円	22,197	10,486	19,631	22,333	26,282																																											
	事業費計(A)	千円	22,197	10,486	19,631	22,333	26,282																																											
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	3	3	4																																										
		延べ業務時間	時間	1,560	1,560	1,170	1,170	1,170																																										
		人件費計(B)	千円	6,536	6,479	4,856	4,878	4,878																																										
トータルコスト(A)+(B)		千円	28,733	16,965	24,487	27,211	31,160																																											

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	施設の設置に伴う法的義務及び施設の老朽化に対応し必要性が生じたことによる。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 近年の少子化により、各校ともクラス数は減少しているが、施設の規模については、パソコン教室や多目的室など、新しい教育メニューの導入等により増大している。 また、学校施設を地域住民の学習や交流の場として開放し、開かれた学校を目指す流れもあり、学校施設の保守管理に要する経費は増大していくと考えられる。 学校でのごみ処理については、紙類や樹木の枝葉を校庭内で焼却処分していたが、現在は、社会的な変化に伴い、産業廃棄物としての処理が必要になっている。また、地球温暖化対策から循環型社会を推進するための紙類などの資源の再利用に取り組んでいる。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校施設の維持管理の充実、学校環境の整備等は、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育法、建築基準法、真岡市立学校の施設及び管理に関する条例等により、設置者としての義務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内全中学校の施設の機能の維持、保全が目的であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 定期的な点検により施設の保守管理を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 施設の安全性の確保、快適な学校環境の確保が図れなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の安全性の確保、快適な学習環境の確保等を図る上で、必要最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の維持管理に要する事務のため、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育法第5条の規定により、受益者が負担するものではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							